



平成28年1月20日

各位

上場会社名 システム・ロケーション株式会社
 代表取締役社長 千村 岳彦
 (コード番号 2480)
 問合せ先責任者 取締役管理部管掌 井坂 俊達
 (TEL 03-6452-2864)

業績予想の修正に関するお知らせ

システム・ロケーション株式会社(以下、「当社」という)は、平成27年5月1日に公表した平成28年3月期の業績予想に対して、開示規則が定める基準を下回る乖離が生じることが明らかとなったため、下記のとおり業績予想を修正しますので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300	400	433	270	76.58
今回修正予想(B)	1,030	210	250	160	45.40
増減額(B-A)	△270	△190	△183	△110	
増減率(%)	△20.8	△47.5	△42.3	△40.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	1,100	287	325	203	57.70

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

当社グループは、自動車関連事業者向けの業務支援企業であり、再販業務支援及びシステム業務支援という2つのサービスを提供しています。

再販業務支援につきまして、当社グループオークションへの出品台数は、為替市場における円安傾向の調整及び新興国経済変調の継続、更には大手オートリース会社の再編の動き等の影響もあり、第2四半期に引き続き第3四半期においても前年同期対比で大きく減少しました。通期における出品台数は期初計画を大きく下回る見通しとなり、売上原価に占める固定費割合が高く、また一部ヤード移転によるコスト増及び一時的な移転費用発生により、再販業務支援における粗利益も大きく減少する見通しとなりました。

システム業務支援においては、売上及び売上原価の双方が嵩む一時開発案件の受注よりもシステムの継続利用を期待できる新規顧客への拡販により一層注力いたしました結果、前年同期比で当該部分の売上高及び売上原価が減少しました。新規顧客は増加いたしました。が、期初計画のシステム利用者数には達せず、売上及び粗利益ともに前期比で大幅に増加する見通しなからいずとも期初計画を下回り、再販業務支援の不調を補うこともできませんでした。

以上の結果、平成28年3月期通期連結売上高1,030百万円(前回発表値と比較して270百万円の減少)、営業利益210百万円(前回発表値と比較して190百万円の減少)、経常利益250百万円(前回発表値と比較して183百万円の減少)となる見込みです。

なお、配当につきましては、期末配当17円の予想から変更はございません。

以上